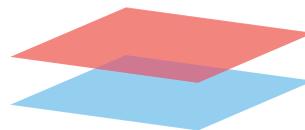


財団概要

一般財団法人
カルチュラルライツ
CULTURAL RIGHTS FOUNDATION



保障されている「最低限度の文化的な生活」。
その「最低限度」の基準は、これまであまりに低く見積もられてきたのではないのでしょうか。
私たちは、その水準を向上させていくために活動します。

文化的な楽しみを持つことは、その人がその人らしく生きるために必要なことであり、保障されるべき権利です。しかし文化芸術の享受は「贅沢」と捉えられ、衣食住の支援に比べ、十分に行き渡らせねばならないという社会の理解が進んでいません。

誰もが文化に親しみ、豊かに生きることができる社会を目指すには、受け手の教育から作り手の生活の問題まで、多面的な課題が残されているのです。

私たちは以下の三つの活動指針のもと、文化芸術を身近なものとして楽しむ人がすこしでも増えるよう、各種プロジェクトを進めています。

〈活動の3本の柱〉



文化芸術を楽しむ余裕のある生活基盤の形成を支援。

SDGsへの取り組み

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム

当財団は、内閣府の地方創生SDGs官民連携プラットフォームに参画しています。
実施プロジェクトは持続可能な開発目標（SDGs）の二つに貢献しています。

目標1「貧困をなくそう」 / 目標4「質の高い教育をみんなに」

▶ メインプロジェクト紹介

1

移動型ギャラリー「アート・トラック」プロジェクト

アートと出会うきっかけをお届け。

トラック型の移動ギャラリーを使った出張展示企画です。若手現代アート作家の作品を目の前までお届けします！

アーティスト本人とお話できる機会も！



なぜ現代アートなのか？

あらゆる芸術ジャンルの中でも、現代アートのあり様は特に多様です。アーティストは、普通には考えることのないようなことを考え、作品を制作しています。それに触れることは、世界が広がるきっかけとなります。

2

体験型美術教育プログラム「アート・ワークショップ」

アートの制作体験を通し、文化芸術を身近なものへ。

簡単な工作教室のようでありながら、体験前と後ではモノの見え方が変わってしまうような、刺激的で楽しいアート体験をお届けします！

アートで思いっきり遊びながら、気づくといろんな学びを得られているような体験型美術教育プログラムです。施設やイベントスペースに伺って実施いたします。



コミュニティの活性化にも！

その場で出会った人と協働制作するプログラムでは、年齢や性別を問わず、そこに新たなコミュニケーションの回路が生まれます。



スペシャル・パートナー



CSR 新東亜工業



FOREIGNER



財団ウェブサイト
cultural-rights.org